

## 第23回 隠岐後鳥羽院短歌大賞 選考結果

本大会も23回を迎え、この度は、全国から1,248首のご投稿を賜りました。  
多くのご投稿をいただき、ありがとうございました。  
厳正なる選考の結果、次の皆様が入賞・入選・佳作に選ばれました。  
誠にありがとうございます。

### 短歌部門 入賞

大賞	ふり返り手を振り改札口へ行く子の反抗期終わりを告げる	愛知県岡崎市	西村 愛美
三枝昂之選 特選	ふり返り手を振り改札口へ行く子の反抗期終わりを告げる	愛知県岡崎市	西村 愛美
安田純生選 特選	カウボーイの姿で帽子の鏝を持ちポーズ決めおり遺影の友は	熊本県八代市鏡町	岩城 恵美子
海士町長賞	カウボーイの姿で帽子の鏝を持ちポーズ決めおり遺影の友は	熊本県八代市鏡町	岩城 恵美子
隠岐汽船社長賞	キチキチと飛蝗とび立つ野の墓に妻の卒塔婆はまだ鮮しき	徳島県阿南市	小畑 定弘
角川『短歌』編集部賞	ふんはりとからだをつつんでくれさうな雲の切れ間に島々うかぶ	茨城県鹿嶋市	大熊 佳世子
島うた歳時記賞	妻であることばかりだとしんどいの隠岐にしばらく行つてまゐります	兵庫県たつの市	坂 和生子
松籟賞	猛りたる牛突きの牛引き離し曳いて戻りぬ石楠花の道	東京都杉並区	嶋田 恵一

### 短歌部門 各選者賞 一般の部

#### 三枝 昂之 選

##### 特選

ふり返り手を振り改札口へ行く子の反抗期終わりを告げる

愛知県岡崎市 西村 愛美

##### 準特選

妻であることばかりだとしんどいの隠岐にしばらく行つてまゐります

兵庫県たつの市 坂 和生子

##### 入選 30作品

隠岐に来て知りたる隠岐の宮相撲目指せ横綱「隠岐の海」関

神奈川県川崎市 鈴木 経彦

平凡の長閑さみせてぶら下る鳴るを忘れし無住寺の鐘

兵庫県宝塚市 小藪 政明

月光のしみこむように一夜干星降る島の軒に干さるる

東京都新島村 曾根 新五郎

百歳の誕生祝う村長へまだ百歳と笑つて答う

東京都新島村 曾根 新五郎

教材の宝庫と島を指す学生理科教師への孵化はもうすぐ

富山県射水市 浦上 紀子

官僚が「高貴なる義務」放り出し詐欺を働く国に堕ちしか

東京都西東京市 武藤 昭彦

認知症これであなともやうやうに忘れて生きる戦争のこと

愛知県岡崎市 林 建生

キチキチと飛蝗とび立つ野の墓に妻の卒塔婆はまだ鮮しき

徳島県阿南市 小畑 定弘

隠岐島の医師となりたる人の手に高々と今、聖火運ばる

三重県伊賀市 七澤 敏子

太古よりうるまの島は変らねど島人苛む外つ国の基地

沖縄県糸満市 平良 宗子

電報の文面のやうなわがメール東京に棲む息子へ送る

神奈川県横浜市旭区 松井 暁子

やぶ医者語源となった村育ちかかりつけ医は名医であった

兵庫県西宮市 小谷 安一

くもの糸はずむ水滴きらきらと負んぶに抱っこ押し競饅頭

静岡県浜松市南区 大庭 拓郎

遠流の身なれどなほ打つ刀剣に菊の御紋は刻まれざりき

神奈川県横浜市港北区 松崎 英司

タリバンからみんなを救って下さいとノートの隅に小六の子の

山口県岩国市 石井 久美子

コンパインのうなる田圃の片隅に案山子がゴロリ空を仰げり

埼玉県本庄市 白藤 巳玲

猛りたる牛突きの牛引き離し曳いて戻りぬ石楠花の道

東京都杉並区 嶋田 恵一

読み聴かす絵本は終わり児は眠り海底ひとりとり残される

静岡県浜松市南区 尾内 甲太郎

待ち受けの画面又開け孫に会いおはようと言ってお休みと言う	大阪府箕面市	須知 雄二
淋しきは空に溶けゆき雨となるその一滴がわたしを生かす	三重県津市	樋田 由美
特攻艇ひそみし浦はあの辺り加計呂麻島の海峡のぞむ	福岡県久留米市	堀江 英毅
夏休み家から海に飛び込んで船屋の子らはしぶきに遊ぶ	愛知県豊川市	渡辺 賢司
手をつなぎぶらぶら歩く昼下がりが財布使わぬデートもいいね	岡山県瀬戸内市	小橋 辰矢
古民家が並ぶ町にもPAYPAYが使えますよと幟が揺れる	徳島県阿南市	坂東 典子
マラソンを機に隠岐島へ赴任した医師が聖火をつないで走る	兵庫県神戸市垂水区	今井 修
神様がけんけんぱあをするがごと島続きおり「しまなみ海道」	和歌山県和歌山市	松田 容典
故郷の景色をひとつポケットに入れてデッキの手摺を握る	東京都青梅市	古賀 のり子
「ないものはないからやめるのではなく ないからつくる」島人の強し	東京都府中市	野田 鮎子
砂浜のプレイボール外野は海投げ打ち泳ぐ島の子ナイン	東京都文京区	遠藤 玲奈
制服は木綿の野良着汗の地図父は鍬持ち日暮れて帰る	神奈川県平塚市	石黒 和風

### 佳 作 30作品

分校を首席で卒業てふガイド卒業生はひとりと明かす	神奈川県川崎市	鈴木 経彦
両手上げ飛板台に立つ少年しまるししむら塑像のごとし	山口県宇部市	藤井 重行
早婚を祖父に急かされ嫁ぎしも八十三歳初恋を恋ふ	長崎県北松浦郡	山本 久子
どんぶらこ漂着物をひろうのが趣味で学びで人生である	北海道瀬棚郡今金町	越野 誠
産声をあげたる島の他知らず海女なる母は島を離れず	東京都新島村	曾根 新五郎
十五分の面会ゆるされ会う夫とアクリル板は近くととほひ	長崎県北松浦郡佐々町	浜野 美江
蛍籠を用意して待つ泊り掛けで来るとう生意気盛りの孫を	埼玉県所沢市	若山 巖
落日に合掌すれば生きている我れの姿は仏となりぬ	三重県亀山市	岩谷 隆司
手術終へ遠き意識に聴こゆるは医師の呼ぶ声子等の呼ぶ声	埼玉県朝霞市	金澤 隆男
島ひとつ両手ひろげて立ちゐたり小さき湾を守りとおして	徳島県海部郡美波町	下町 昭
「隠岐の海」に軍配上る梅雨晴れの島のどよめき土俵に満ちて	山口県熊毛郡平生町	中村 美重子
今は亡き市長の植えし百日紅市街を染めて猛暑日つづく	群馬県館林市	本川 みや子
初任地の知夫里にゆくと何回も物忘れ進む老いはつぶやく	島根県江津市	藤井 幹雄
選手らに見習うことの多きよとファイトをもらうパラリンピック	福岡県三潞郡大木町	中村 久恵
雪虫が群れて町中かすむ頃ママさんダンプのネジしめ直す	北海道札幌市南区	後藤 明美
列島の近きにありて遠い島地図を開きて隠岐の島見る	愛知県名古屋市昭和区	添島 貴美代
山口にUターンして「じゃけえ」とう方言戻るに三年かかる	山口県光市	松本 進
学校の放送室から流れ来し「蛍の光」島去るわれに	熊本県八代市鏡町	吉野 佳子
ハモニカを吹くごとと食みたる網焼きの玉蜀黍は昭和の匂い	愛媛県西条市	徳増 善久
宝物理まる島だと描く子の十色の虹私は黄色	東京都杉並区	佐藤 優羽
バリウムを一口飲んでまた回転結果預けて球根植える	愛知県愛西市	真野 勝子
悩むには明るすぎる夜 縦に並ぶ星を真冬の背骨と思う	山梨県都留市	五 感
剪定のリンゴ畑にたつ煙今年かぎり老いの背のばす	山口県岩国市	二宮 信子
島前と島後を結ぶトンネルを夢と思ふや活路と見るや	山形県鶴岡市	大沼 二三枝
妹の逝きたる師走まためぐり枇杷の小花のひそやかに咲く	福井県鯖江市	佐々木 邦子
瀬戸内に生まれ育ちし吾なれば島影見えぬ海に憧（あくが）る	山口県山陽小野田市	山縣 満里子
何一つ取り戻せないわかっているされど亡父を思い出している	神奈川県相模原市南区	河野 真理
空白の手帳を埋める楽しみをコロナは奪ったこんちくしょうだ	愛媛県松山市	中田 雄一
寝る前の肩甲骨のやはらかさ私の夏が近づいてゐる	愛媛県松山市	秋本 哲
吾の目に乳を注ぎてごみとりし母の野良着の姿忘れず	栃木県芳賀郡茂木町	小林 博

## 安田 純生 選

### 特 選

カウボーイの姿で帽子の鏢を持ちポーズ決めおり遺影の友は 熊本県八代市鏡町 岩城 恵美子

### 準特選

ふんはりとからだをつつんでくれさうな雲の切れ間に鳥々うかぶ 茨城県鹿嶋市 大熊 佳世子

### 入 選 30作品

若人のよさこいのこゑ涼風に乗りて届きぬ島のカフェに	三重県松坂市	広 華
古古米に寄り来る白鳥鴨数多無心に食むをあかず見てをり	福島県福島市	渡辺 千枝子
マスクして島へ来る客マスクしてむかえて笑う民宿の人	東京都新島村	曾根 新五郎
里道の崩れて人らは難渋し峠を越えて町に出かける	山口県岩国市	弘兼 安雄
蛍籠を用意して待つ泊り掛けで来るとう生意気盛りの孫を	埼玉県所沢市	若山 巖
急に耳不自由となり生返事ばかりと妻に叱られて秋	兵庫県宝塚市	小藪 政明
背のファスナー腰のあたりで動かないせまる時間に冷汗たるる	長崎県北松浦郡佐々町	川副 昌子
「ワクチンは済みましたか」と聞くだけで話が弾むどんな人とも	東京都西東京市	武藤 昭彦
キチキチと飛蝗とび立つ野の墓に妻の卒塔婆はまだ鮮しき	徳島県阿南市	小畑 定弘
若き日の父をあれこれ思いみる筑前琵琶も爪弾きしとか	大分県大分市	松本 トシ子
旅人が逸れしボールを拾いあげ島の男の子に投げ返したり	愛知県春日井市	笠井 忠政
去ってゆく夏にさらりと別れ告げ秋抱くために両手広げる	愛知県稲沢市	竹村 日出子
これからはひと日ひと日を楽しまんネギの根っ子を鉢に植えたり	山口県下松市	濱田 道子
古き世のウサギとワニの物語聞かす子もなし緋の百日紅	奈良県橿原市	川元 暢子
電報の文面のやうなわがメール東京に棲む息子へ送る	神奈川県横浜市旭区	松井 暁子
紋付きの羽織と一緒に妣の名の産婆免許証昭和九年	茨城県鹿嶋市	児矢野 雅恵
ハハハハハ吾が失敗を姉笑う電話の向こう共に一人居	福岡県筑後市	世良田 静江
二十時の東南の空に雲を避け金色の月威儀をただしぬ	鹿児島県始良市	佐藤 千恵子
夫逝きてひとり訪う相国寺あなたの好きな鳴き龍を聞く	愛知県岡崎市	平田 柚月
酒を飲み岩牡蠣を食み海見つめ夫は何かを忘れたがってる	兵庫県川西市	木内 美由紀
今年ほど離島を感じたことはない欠航続きで予定立たない	新潟県佐渡市	関根 恵津子
シクラメン今年も紅く咲きにけり母の声なき我が誕生日	神奈川県川崎市中原区	松浦 元子
秋祭りの家々を結ぶ注連縄が途切れてそこから海がはじまる	島根県益田市	丸山 恵子
幾代代も米はぐくめる黒土を踏みしめて刈る稲束重し	京都府亀岡市	野々村 与志美
貯金箱小銭ばかりを貯め込みて時折揺する小さな幸せ	東京都立川市	西川 憲昭
瀬戸内に生まれ育ちし吾なれば島影見えぬ海に憧（あくが）る	山口県山陽小野田市	山縣 満里子
神様がけんけんぱあをするがごと島続きおり「しまなみ海道」	和歌山県和歌山市	松田 容典
発売日 過ぎた雑誌が届くのを心待ちにした あの船着場	東京都品川区	江崎 彰
暖かな冬の光を惜しみつつ妻とふたりで布団を干しぬ	愛知県春日井市	古口 博之
秋の陽に頭を垂れしふたり見ゆミレーの晩鐘真似たる案山子	京都府京丹後市	赤岩 邦子

### 佳 作 30作品

弟の旅の土産のモアイ像イースター島より六体届く	広島県三次市	折口 浩三
両手上げ飛板台に立つ少年しまるししむら塑像のごとし	山口県宇部市	藤井 重行
雨ふりに傘をさす人ささぬ人家にこもりて空をながむる	東京都大田区北嶺町	清水 春美
裏浜の岩にて待ちし御来光はたちまち湾を光にみたす	福岡県糟屋郡篠栗町	美濃 恵津子
新緑の瀬戸の島々少しだけ大きく見えて水面に映る	京都府京都市東山区	長倉 美季

初めての遠足松島島に歓声あげし教え子七十才  
 画面にてヨチヨチ歩く玄孫なりそは在りし日の曾孫の姿よ  
 富士山に二度登頂せし夫が熊野古道を杖にて歩む  
 海沿いのカーブの道を幾曲がり瀬戸の島々夕日に染まる  
 九十年過ごした島を去る嬸「老いたから子に従います」と  
 山口にUターンして「じゃけえ」とう方言戻るに三年かかる  
 コンバインのうなる田圃の片隅に案山子がゴロリ空を仰げり  
 学校の放送室から流れ来し「蛍の光」島去るわれに  
 猛りたる牛突きの牛引き離し曳いて戻りぬ石楠花の道  
 児の頭ほどの鬼柚子目鼻付け飾れば撫で行く中三男子  
 前脚を広げ立ちたる熊の像真似たる妻は熊より強く  
 歳重ね旅立つ準備始めれば幼なき日記にまさかの恋歌  
 この秋の暑さを先づは挨拶に店閉むる事友は告ぐなり  
 特攻艇ひそみし浦はあの辺り加計呂麻島の海峡のぞむ  
 打ち寄せる波は問い歌返し歌焦がれ詠むなり島前島後  
 古民家が並ぶ町にもPAYPAYが使えますよと幟が揺れる  
 ジャンプする私の中で思い出がぼちゃんと鳴るの聞きたくなって  
 神の留守なれど祈りの日を重ね君の笑顔の戻る日を待つ  
 地下足袋が雨を蹴散らし直（ひた）走り父から子どもへマスクが渡る  
 何一つ取り戻せないわかっているされど亡父を思い出している  
 真っ直ぐに進むフェリーのデッキから島根半島見れば藍色  
 広き田をひとりで刈りしこともあり父母いまさぬ遠き日のこと  
 吾の目に乳を注ぎてごみとりし母の野良着の姿忘れず  
 大道芸南京無双玉すだれ習ひて二年人前にも立つ  
 隠岐の意気継がむと男（お）の子牛突きの牛の口縄取りて坂ゆく

栃木県塩谷郡高根沢町	小杜 芳野
三重県四日市市	田中 早苗
茨城県鹿嶋市	岩熊 啓子
山口県岩国市	藤本 征子
山口県岩国市	田中 千佳子
山口県光市	松本 進
埼玉県本庄市	白藤 巳玲
熊本県八代市鏡町	吉野 佳子
東京都杉並区	嶋田 恵一
愛知県愛西市	真野 勝子
岐阜県郡上市大和町	海神 瑠珂
香川県丸亀市	寒川 靖子
熊本県八代市	太江田 妙子
福岡県久留米市	堀江 英毅
兵庫県尼崎市	石垣 長司
徳島県阿南市	坂東 典子
静岡県静岡市駿河区	海瀬 安紀子
大阪府吹田市	河邊 幸子
島根県松江市八雲町	人見 あい
神奈川県相模原市南区	河野 真理
島根県邑智郡邑南町	石橋 由岐子
岐阜県多治見市	加藤 富美恵
栃木県芳賀郡茂木町	小林 博
福岡県糸島市	瀬戸口 真澄
滋賀県大津市	船岡 房公

## 短歌部門 青少年の部

永田 淳 選

### 最優秀作品

ひるがえる海のひかりを搔き分けて海猫は飛ぶ 孤独を秘めて 愛知県名古屋市中川区 渡邊 美愛

### 優秀作品

つくづく吐き出したる種を見て種裂けて付くライチの肉は 愛媛県松山市 相曾 此君